



オンプレミスとは、どのような意味なのでしょうか？



IT システムを構築する際に、サーバーやネットワーク機器を購入(リース契約など)して、自社の建物内に設置・運用していくことを「オンプレミス」あるいは「自社運用型」といいます。従来から企業で一般的に利用されています。

クラウドが登場する以前は、システムや Web サイト構築・運用時の選択肢はオンプレミスか、外部のハウジング(コロケーション)やレンタルサーバー利用が大半でした。

しかし近年では、インターネット上の外部リソースであるクラウドコンピューティングなどを活用することで、同様の IT システムを構築することができるようになり、クラウドへの移行が加速してきています。

クラウドとオンプレミスのメリット・デメリットです。

■ オンプレミスとクラウドの比較

| | オンプレミス | クラウド |
|--------------|--|--|
| コスト形態 | 資産 | 経費 |
| コスト | <p style="text-align: center;">×</p> <p>サーバーやソフトウェアライセンス、ネットワーク機器の購入など初期費用が高額。 数年後の使用量を想定して初期投資が必要。</p> | <p style="text-align: center;">◎</p> <p>初期費用無料が一般的。低コストでスタートでき、必要な時に必要なだけサーバー増減が可能のため、コストを最適化しやすい。</p> |
| インフラ調達期間 | <p style="text-align: center;">△</p> <p>機器調達に、数週間から数か月かかる。</p> | <p style="text-align: center;">◎</p> <p>アカウント登録後すぐに利用できる。Web上から、サーバー台数の増減やスペック変更などが行える。</p> |
| カスタマイズ | <p style="text-align: center;">◎</p> <p>自前で構築するため、要望にあわせて自由にカスタマイズ可能。</p> | <p style="text-align: center;">△</p> <p>IaaS型クラウドの場合、比較的自由度高く使える。</p> |
| ネットワークセキュリティ | <p style="text-align: center;">◎</p> <p>自社内の閉じたネットワーク環境下でシステム構築・運用できるため安心。</p> | <p style="text-align: center;">△</p> <p>他のユーザーと物理的に分かれたプライベートネットワーク(VLAN)環境を利用できるため安全。</p> |
| 既存システムとの連携 | <p style="text-align: center;">◎</p> <p>同一ネットワーク内にある社内システムとの連携や統合などの自由度は高い。</p> | <p style="text-align: center;">△</p> <p>インターネット利用を前提とした場合、連携不可のケースもある。閉域網接続などインターネットを経由せずに、自社システムと連携するハイブリッド利用も増えている</p> |
| 障害対応 | <p style="text-align: center;">×</p> <p>自社で復旧作業を行う。場合によっては現地へ駆けつける。</p> | <p style="text-align: center;">△</p> <p>クラウド事業者が復旧作業を行うため、インターネット越しに復旧を確認できる。</p> |